

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむる） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区の対象は、北海道の東部に位置する釧路根室森林計画区の国有林野182,004haである。</p> <p>この地域は主に釧路湿原の上流域及び別寒辺牛湿原等を含むパイロットフォレスト等がある釧路地区、阿寒富士を源とし太平洋へ注ぐ庶路川・茶路川流域に面する白糠地区、阿寒湖・雌阿寒岳等阿寒国立公園の中心部及び阿寒川流域に面する阿寒地区、阿寒山系から屈斜路外輪山をとおり摩周岳にかけての山岳林及び釧路川上流部に面する弟子屈地区により構成されている。</p> <p>主要河川である別寒辺牛川、庶路川、茶路川、阿寒川、釧路川等が発達し、その豊富な水資源は生活用水をはじめ、畑作や酪農の農業用水のほか多種多様に利用されている。これらの河川源流部及び農耕地等の後背部に位置する国有林野には、水源かん養、土砂流失・崩壊防備等の山地災害の防止機能の発揮が期待されている。</p> <p>また、阿寒湖・摩周湖・屈斜路湖周辺等の原生的な森林生態系を有する阿寒国立公園、別寒辺牛湿原等を主要部とする厚岸道立自然公園は地域の基幹産業である観光に大きく寄与しており、森林生態系や風致・景観の維持・保存、保健文化機能の発揮が期待されている。</p> <p>山岳地帯から海岸に広がる丘陵地帯の緩傾斜地は、路網の整備等集約的な施業を行い、木材生産機能の発揮を期待されており、特に、パイロットフォレストにおいては、水源かん養機能等が維持できる範囲内でカラマツ等資源の持続的供給を目指す観点から、上層カラマツ・下層カラマツの複層林造成に向けた施業を推進していく必要がある。。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">5,680 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>45,802 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>15.1 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.5 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>5,615,773 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	5,680 ha			保育面積	45,802 ha		路網整備	開設延長	15.1 km			改良延長	2.5 km	総事業費			5,615,773 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	5,680 ha																				
		保育面積	45,802 ha																				
	路網整備	開設延長	15.1 km																				
		改良延長	2.5 km																				
総事業費			5,615,773 千円																				
費用対効果分析	総 便 益（B）	51,310,076 千円																					
	総 費 用（C）	7,256,362 千円																					
	分析結果（B / C）	7.07																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

別紙様式 7

整理番号 1

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業  
 事業実施地区名：根室釧路森林計画区  
 （都道府県名：北海道 ）

事業実施主体： 北海道森林管理局  
 根釧西部森林管理署

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	10,994,277	
	流域貯水便益	4,937,812	
	水質浄化便益	8,408,343	
山地保全便益	土砂流出防止便益	22,428,477	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	2,697,649	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	969,112	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	436,266	
	木材利用増進便益	37,959	
	木材生産・確保増進便益	369,863	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	284,574	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	85,289	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	30,318	
総便益(B)		51,310,076	
総費用(C)		7,256,362	
費用便益比(B/C)		7.07	

# 森林環境保全整備事業 釧路根室計画区(北海道) 事業概要図

対象計画区拡大図

